

AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム（2001）2巻2号:2.

【寒圏医学・寒圏看護学の現状と課題】特集の企画にあたって

菊池健次郎

特集：寒圏医学・寒圏看護学の現状と課題

特集の企画にあたって

菊池 健次郎

今回、「旭川医科大学研究フォーラム」誌の編集副委員長をお務めの歴史学 近藤 均 教授、および編集委員の法医学 塩野 寛 教授より本フォーラムの特集として“寒圏医学・寒圏看護学”を取り上げたい旨のお話ですが、「第9回寒圏医学研究会」の当番世話人をさせて頂きました私にございました。したがって本企画は両教授をはじめ編集委員の皆様によるものであります。編集委員会から“特集の企画にあたって”を執筆するようとの依頼がございました。私の立場と致しましては、本学で定期開催されております寒圏医学研究会について御紹介をさせて頂くことに致しました。「寒圏医学研究会 旭川 {Research Exchange Group for Cold Zone Medicine Asahikawa (REGA)}」は、寒冷及び低温に特異的な医学的問題について基礎および臨床の観点からの情報交換、討論を促進し、研究の促進を図ることを目的とし、1994年(平成6年)8月10日(水)に第1回研究会が本学機器センターカンファレンスルームで産婦人科 石川睦男 教授と第一生理学 黒島晨汎 教授(現 名誉教授)のお世話で開催されました。本研究会は、日本最北の寒冷地にあります本学において、寒冷・低温に特異的な研究を立ち上げ、これを推進し、本学の個性の一つにとの、当時の清水哲也 学長先生の強い肝入りで設立されたと記憶しております。研究テーマとして以下の4点が取り上げられてきました。

1. 寒冷生体反応および寒冷適応：中枢性および末梢性体温調節の生物学、生化学、生理学、交叉適応
2. 寒冷と生殖：配偶子ならびに胚の凍結保存、寒冷と周産期医学
3. 寒冷と栄養、成長：生活習慣病、老化、思春期発来、発育障害
4. 寒冷の医生態学：疫学(腫瘍学、疾病の発症と死亡)、法医学的問題、リハビリテーションの問題、保健・看護的問題

第1回から第6回までの本研究会は、石川、黒島の両教授が世話人を務められ、第7回から両教授に加え、法医学講座の塩野教授と私が世話人として参画させて頂いております。そして最近では、第9回を2000年(H12年)3月6日に私がお世話させて頂き、次いで、少し間があきましたが、2002年(H14年)2月13日に第10回寒圏医学研究会が石川教授のお世話で開催されました。

「旭川医科大学研究フォーラム」の本特集では、本研究会の設立、発展に多大の尽力を傾注されてこられた黒島晨汎名誉教授をはじめ、本研究会に研究成果を発表してこられた4人の本学医学科の教官の皆様から、それぞれの立場から総説を寄稿頂き、そして症例報告(第9回研究会で発表された)を1編執筆頂きました。また今回、本研究会とは別に看護学科教官からも、専門分野の総説を1編頂戴いたしました。御多用中にもかかわらず、本特集のため御執筆頂きました皆様に心より感謝申し上げます。また、このような企画をたてられ、「寒圏医学研究会」を紹介させて頂く場をお与え下さいました編集委員各位、並びにこれまで「寒圏医学研究会」の設立、発展、継続のため多大な御尽力を賜りました清水哲也元学長、久保良彦現学長、黒島晨汎名誉教授、石川睦男教授をはじめ関係の皆様には深甚の感謝の意を表させていただきます。

学内の皆様方はもとより広く学外の各位におかれましても、今後とも本学の個性の一つであります本研究会の発展に是非ともご助力賜りますようお願い申し上げます。(旭川医科大学 内科学第一講座)